「思考力,判断力,表現力等」の育成を目指した授業例 ~数学巡回指導で実践された授業~

【第1学年】

①事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する授業

②構想を立てて説明し、統合的・発展的に考える授業

③事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明する授業

題目「正三角形の1辺のマグネットの数と総数との関係」

題目「正方形の数とマッチ棒の総数の関係」

題目「平面図形の移動」

【第2学年】

④構想を立てて説明し、統合的・発展的に考える授業

⑤既習の学習と対比させながら課題解決を図る授業

⑥問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する授業

⑦問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する授業

⑧問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する授業

⑨判断の理由を数学的な表現を用いて説明する授業

題目「3つの連続する整数の和の性質」

題目「加減法による解き方」

題目「一次関数を用いること」

題目「一次関数を用いた具体的な事象」

題目「図形の性質と補助線」

題目「さいころの目の出方」

【第3学年】

⑩事柄を調べる方法を数学的な表現を用いて説明する授業

⑪問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する授業

②事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する授業

題目「平方根の近似値」

題目「相似な図形の性質(相似比)を活用すること」

題目「三平方の定理の証明

①事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する授業 第1学年 文字式の利用(1/3) 題目「正三角形の1辺のマグネットの数と総数との関係」

ねらい

1 辺が n 個の正三角形のマグネットの総個数を、1 辺が 6 個のときの 考え方と関連付けることにより、n を使った式で表し、説明できる ようにする。

評価規準

式が表す意味を、事象の規則性に気付き、図と関連付けて説明することができる。(数学的な見方や考え方)

学習活動 腊 指導及び指導上の留意点 ○1 辺のマグネットの数が6個、7個、8個の 1. 問題を提示し、本時 3 図を掲示し、問題を把握させる。 の学習内容を確認す ポイント2 る。 【問題】マグネットを正三角形の辺上に同じ数ずつ並べます。1辺の 数がn個の場合、全部で何個必要でしょうか。 【めあて】規則的に変化する数量を見付けて、マグネットの総数を 求める式をつくろう 〇生徒に図から気づくことを発表させる。 2. 本時の課題を把握す T: どんな式になりそうかな? る。 S:nを使った文字式で表されそう。 S: いろんな式が考えられそう。

S:何かきまりがありそう。 【課題】必要なマグネットの総個数を文字式で表すには、どのように 考えるとよいか。

3. 自分に与えられた数式の意味を、図と関連させて考え、グループ内で伝え合う。



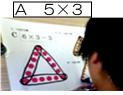
させて各自で考える。

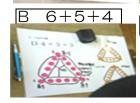
配付する際、生徒の習熟の状況や、後のグループのことも考え、A~Fを意図的に配布。

○ラミネートされたA~Eの5つの図を生徒 に1枚ずつ配布。









C 6×3-3

D 4×3+3



」全員にラミネート された教具に自分 の考えを書くこと ができる。

 $E 1+2\times4+6$

4. 文字を用いてマグ 20 ウ ネットの総個数を表

畊間

5

す式を3活の式と関連付けて表す。 ①一人で考える。

②グループで確認する。

学習活動

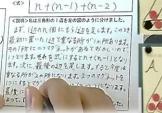
③全体で交流する。

なぜその式で表せる のかを、数学的に表 現させる。

5. 課題に対するまとめを行い、本時を振り返

指導及び指導上の留意点

〇同じ式が書かれたグループに集まり、式と 図の関連を確認させる。



n x3-3

○課題に対するまとめを生徒に記述させる。

【まとめ】図を利用して、規則的に変化する部分と、そうでない部分 に着目して考えると、文字式で表すことができる。

--

○本時の課題解決の過程を振り返り、文字を 用いて表されたマグネットの総数の式を 統合的に考える。

【振り返り】5 通りの考え方で表された文字式のどれを使っても、マグネットの個数は、すべて同じになるのかな。



くこの授業のポイント>

ポイント①事象を多面的に捉えるための教材の工夫

ポイント②文字を用いた式を、数を用いた式と関連付けて考えることで、式の 意味を読み取り、読み取った意味に基づいて根拠を明確にして説明 する活動を設定

②構想を立てて説明し、統合的・発展的に考える授業

第1学年 文字と式(1/6) 題目「正方形の数とマッチ棒の総数の関係」

ねらい

正方形を並べるときに必要なマッチ棒の本数の理由を、帰納的に考えること で推測し、文字を用いた式で表すことを通して、説明できるようにする。

評価規準

数量の関係や法則などを、文字を用いた式でどのように表 すのか説明することができる。(数学的な見方や考え方)

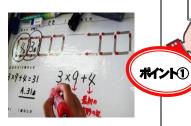
学習活動		指導及び指導上の留意点
1. 正方形を9個並べた ときに必要なマッチ棒 の本数はどのようにな るか予想し、本時の学 習の見通しをもつ。	5	○黒板にマッチ棒を使って正方形をつくり、 マッチ棒の本数がどのようになるか予想させる。○めあてを提示し、本時の学習に見通しをもたせる。

【めあて】n個目の正方形に必要なマッチ棒を予想し、その理由を説明でき るようになろう。

2. 「マッチ棒の本数は 31 本」になることを予 想し、理由を考える。

〇予想したことを『事実の説明』の記述形式 で表す。≪グループで確認≫

『事実の説明』~は~になります。 理由は、~だからです。



3.「正方形を n 個並べた ときに必要なマッチ棒 の本数」はどのように 表せるか理由を添えて 考える。

『図を使ってわかりやすく説』 ■明できるように考えよう。

〇理由の説明を「説明の基本形」に沿って説 明することを確認する。

「正方形を9個並べたときに必要なマッチ』 棒の本数の求め方を基に考えよう。 (帰納的に考えさせる)

(生徒が持った問い)

- ●正方形の数とマッチ棒の数の関係は、どん な関係になっているのかな。
- 〇生徒の思考に沿って「課題」を設定する。

【課題】正方形の数とマッチ棒の本数の関係を、言葉や式を用いてどのよう に説明できるか。



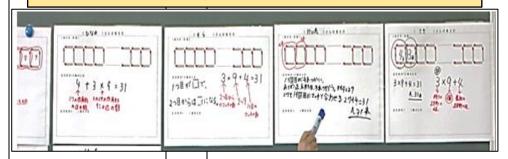
〇考えがすすまない生徒にはヒントカードを 基に考えることを促す。

ヒントカード① 正方形が1個増えるとマッ チ棒は3本増えるから 4 + 3 (

ヒントカード② 左端の1本に3本ずつ足し ていけばよいから 1+ (

学習活動	晡	指導及び指導上の留意点		
4. 課題に対するまと めを行う。	5	○課題に対するまとめを『理由の説明』の記述 形式で表す。≪グループで交流≫		

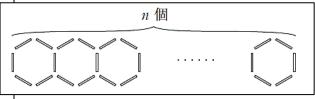
【まとめ】正方形をn個つくるのに必要なマッチ棒の本数は、正方形が 1個増えるごとにマッチ棒は、3本増えるので、(マッチ棒の本数)=4 +3×(正方形の数-1)となり4+3(n-1)の式で表される。



5. 条件を変えて新た な性質を見いだし説 明する。



〇正方形を六角形に変えて、六角形をn個つく るのに必要なマッチ棒の本数は、言葉や式を 用いてどのように説明できるか考えさせる。



6. 本時を振り返る

〇本時の問題解決の過程を振り返る。

【振り返りの視点】規則性のある事柄は、どのような見通しを持って説明 をしていけばよいか。

くこの授業のポイント>

ポイント① 全国調査「記述式」問題の記述形式に基づく説明

課題解決に向けて自分の考えを持てない生徒を支援する ヒントカードの準備

ポイント③ 統合的・発展的に考える場面の設定

③事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明する授業

第1学年 図形の移動(3/3) 題目「平面図形の移動」

ねらい

図形の移動に着目して見つけた特徴を、実際に操作し移動させ的確に捉える ことを通して、数学的に説明できるようにする。

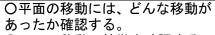
評価規準

移動前と移動後の二つの図形の関係を調べ、図形の性質 を見いだすことができる。(数学的な見方や考え方)

時 学習活動

指導及び指導上の留意点

1. 前時の復習をし、図形の移動につ いて思い出す。



○3つの移動の特徴を確認する。 〇めあてを提示し、本時の学習に 見通しを持たせる。

【めあて】図形の移動に着目して万華鏡の模様について調べよう

問題 ウの正三角形の模様は、アの正三角形の模様を、対称移動以外 の移動で重ねることはできないだろうか。

2. 問題を提示し、解決の方法を考え る。



(生徒が持った問い)

●「ACを折り目として折り返 し、CEを折り目として折り返 す」でいいのかな?

ポイント3





生徒一人一人にTPシートで作成したアの正 三角形を渡し、ウに移動するには、どうすれば よいか操作している。

●「回転移動でも重なりそうだよ。」

○生徒の思考に沿って「課題」を 設定する。

【課題】回転移動の説明には、どのような要素が必要か。



問問

指導及び指導上の留意点

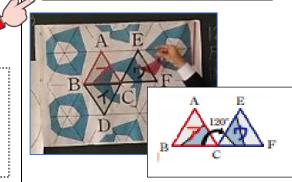
〇課題に対するまとめを『事実の説明』の記 述形式で表す。≪グループで交流≫

『事実の説明』

~は~になります。



生徒「回転移動を正しく説 明するためには、回転の中 心の位置、回転の向き、回 転角の大きさの3つに着 目して説明することが必 要です。」



【まとめ】回転移動を説明するためには、①回転の中心の位置、②回転の 向き、③回転角の大きさ、の3つの要素が必要である。

3. 本時を振り返る

校章についても、どんな図形から できているか、どんな特徴がある か考えてみよう。



【振り返りの視点】①身の回りの図形にはどんな特徴があるか。 ②移動を説明するときは、どのような見通しをもって説明をすすめるとよ いか。

くこの授業のポイント>

ポイント① 全国調査「記述式」問題の記述形式に基づく説明

ポイント② 課題解決に向けて自分の考えを持てない生徒を支援する教具の準

ポイント③ 授業者が回転移動の説明の3つのポイントを押さえている。

④構想を立てて説明し、統合的・発展的に考える授業 第2学年 文字式の利用(3/8) 題目「3つの連続する整数の和の性質」

│3つの連続する整数の和を、帰納や類推の考えで推測し、文字を用いた式で│ |表すことを通して、3の倍数になることを説明できるようにする。

学習活動

目的に応じて数量を表す式を変形したり、式から読み取 ったことを説明したりできる。(数学的な見方や考え方)

	学習活動	畘間	指導及び指導上の留意点	
1. 3つの連続する数の 和がどんな数になるか 予想し、本時の学習の 見通しをもつ。		5	○3つの連続する数を生徒に問い、そのだめのような数になるか予想させる。○めあてを提示し、本時の学習に見通したせる。	
	【めあて】数の性質を予想し、それが正しいことを説明しよう。			

2「3つの連続する整数 の和は3の倍数にな る」ことを予想する。

りまて表の内質を見して山水下いことを 1+1+2=3 : 3つの連続は霊教の和は、3の信教になる。

3.「3つの連続する整数 15 の和は3の倍数にな る」ことを説明する。

〇予想したことを『事実の説明』の記述形式 で表す。≪ペアで確認≫

『事実の説明』~は~になります。

※プレートで表示

数の性質を子想しそれが正しいことを説明しよう 〈自分〉 〈全体〉 。たす敬かス 、3の倍数 314 15 = 12 = < 10 B 2 . 6 1 の倍数にたれば 2 1 3 1 4 = 9 0+1+2=3 ・3の信教に氏 ・3つの連続した登数の知は、3の倍数になる。

○3つの連続した整数について説明するには 文字を用いて説明する必要があることを 確認する。

「3つの連続する整数は文字を用いてどのように表せるかな。」 (1年生の学習を想起させる発問)

n、n + 1、n + 2 はどのよ ¦ うに考えたのかな。

·3フの連続した整数の知は3の倍数になる n+(n+1)+(n+2) = 3n+3

(ポイント①

(生徒が持った問い)

●3n+3まで計算したけど、これで3の倍 数といえるのかな?

【課題】3n+3をどのように変形すると3の倍数といえるのだろうか。

考えがすすまない生徒に ヒントカードを基に考え ることを促す。

〇生徒の思考に沿って「課題」を設定する。

ヒントカード(1) 3の倍数⇔3×(整数)

ヒントカード② 3 () = 3 n + 3

4. 課題に対するまと めを行う (ポイント2)

指導及び指導上の留意点

○課題に対するまとめを『理由の説明』の記 述形式で表す。≪グループで交流≫

【理由の説明】○○だから△△です。 ※プレートで表示

【まとめ】3 (n+1) に変形すると $3 \times (整数)$ の形になるので、 3 n + 3 は 3 の 倍数になる。

5. 条件を変えて新た な性質を見いだし説明 する。 ボイント3 ○連続する整数の数の条件を自由に選択さ せて、見いだした性質と成り立つ理由を説明 する。≪全体で交流≫

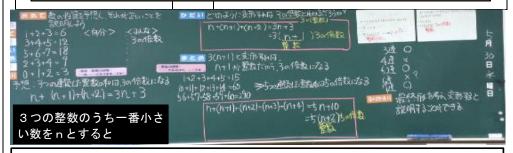


6. 本時を振り返る

56+57158+59+60 = 290 n+ (n+1) + (n+2) + (n+7) + (n+4) 4 d x = 5ht 10 5 10 = 5(11±3) 6 #×3 710 h + (n+1) + (n+2) + (n+3) 4の情数ではない 411 6 4(1) 1.5) 期数ではない

〇本時の問題解決の過程を振り返る。

【振り返りの視点】数の性質を説明するときは、どのような見通しをも って説明をすすめるとよいか。



くこの授業のポイント>

ポイント①生徒に問いを持たせて設定した「課題」

ポイント②全国調査「記述式」問題の記述形式に基づく説明

ポイント③統合的・発展的に考える場面の設定

⑤既習の方程式と対比させながら課題解決を図る授業

第2学年 連立方程式を解くこと(1/6) 題目「加減法による解き方」

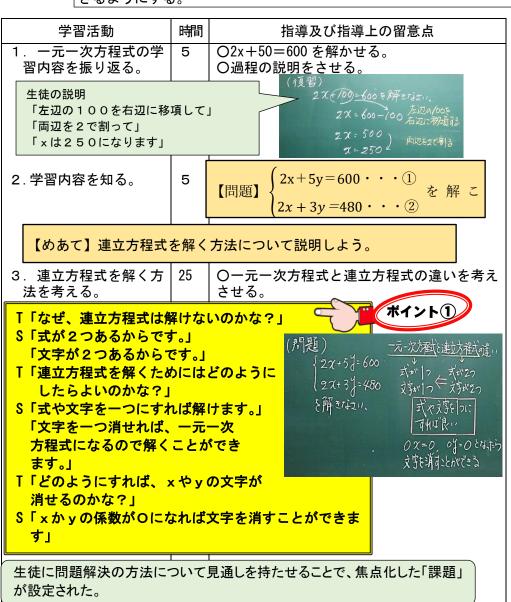
ねらい

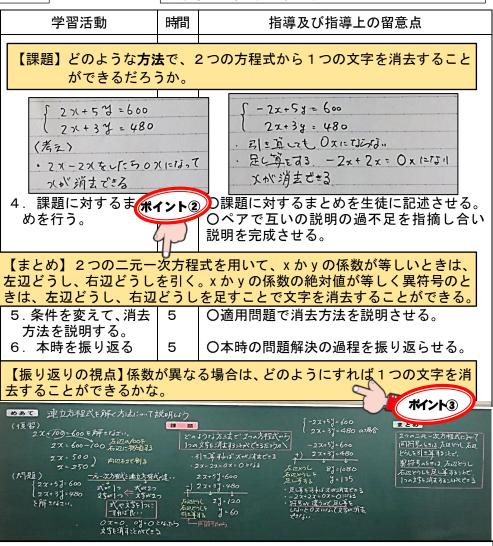
2つの二元一次方程式から1つの文字を消去する方法を、一元一次方程式に帰着させたり、係数の絶対値に着目させたりすることを通して、数学的に説明できるようにする。

評価規準

<授業のポイント>

2つの二元一次方程式から1つの文字を消去する方法を見つけ、説明することができる。 (数学的な見方や考え方)





ポイント①問題解決の方法を既習の方程式と対比させて考えることで設定された

ポイント②全国調査「記述式」問題の記述形式に基づいた説明(方法の説明)

ポイント③次時につながるような「振り返り」の視点の設定

⑥問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する授業 第2学年 一次関数(4/6)題目「一次関数を用いること」

ねらい

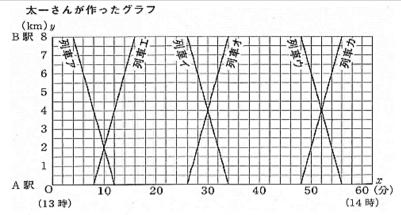
ある地点における2つの列車が通る時間の差を、ダイヤグラムから作成したグラフの変化や対応を調べることを通して、 数学的な表現を用いて説明できるようにする。

評価規準

A班

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的な表現を 用いて説明することができる。(数学的な見方や考え方)

【めあて】問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明しよう。



(3)太一さんは、A駅からの道のりが 6kmの地点にある鉄橋を通る列車アと 列車工の写真を撮影したいと考えていま す。



このとき、A駅からの道のりが6kmの地点において、列車アが通ってから列車工が通るまでにおよそ何分かかるかは、前ページの太一さんが作ったグラフから求めることができます。その方法を説明しなさい。ただし、実際に時間を求める必要はありません。

H30全国調査 数学B3

本設問を使って授業行う前に、授業者が理解しておく必要があること

- ①自校のH30 全国調査における本設問の平均正答率及び解答類型と反応率
- 2記述式問題に対する解答形式
- ③関数の問題解決の際に、表、式、グラフを生徒が適切に選択し、 的確に表現できるようにする必要があること

【課題】列車アと列車工のグラフをどのように用いれば求められるか。

個人

¥ 近 列車アと列車エについて、 6km の地点における2つの 列車の通過時間の差を求め る。 B班

2つのグラフの6km のとき を見る。

イント①

【練り合う】班の説明を比較し、過不足を指摘し合う場面を設定

A班の説明に対して

「6kmの地点ってグラフのど こを見ているのかな?」

「通過時間の差はグラフでどこ のことをいってるの?」 B班の説明に対して 「グラフの6kmのときの何に着目 するのかわからないです」

『説明に必要な要素』

- ■2つのグラフの y 座標が6である点に着目すること
- y 座標が6に対応するxの値の差を求めること

ポイント②

【修正する】個に戻し、生徒一人一人が説明を修正する場面を設定する。

【まとめ】

列車アと列車エの2つの グラフについて、yの値 が6のときのxの値の差 を求める。

【振り返りの視点】

自分の説明に足りなかった要素や 数学の用語について振り返り、列車 がすれ違う時間等に焦点を当てて説 明する。

【授業のポイント】

- ① 班の説明の過不足を指摘し合う場面を設定すること
- ② 説明に必要な要素を明確にして、再度個人で説明を修正する場面を設定すること

(7)問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する授業

第2学年 一次関数の利用(1/3) 題目「一次関数を用いた具体的な事象」

ねらじ

例題

具体的な事象の中から取り出した二つの数量の関係を、それらの変化や対応を 調べることを通して、数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明するこ とができるようにする。 評価規準

具体的な事象から取り出した二つの数量の関係が一次関数であるかどうかを判断し、その変化や対応の特徴をとらえ、説明することができる。(数学的な見方や考え方)

学習活動

晡間

指導及び指導上の留意点

- 1. 例題を提示し、本時の学習内容を知る。
- ○例題文とグラフから読み取れる事柄を考え させる。
- ○読み取れた事柄を全体で確認する。



- ・学校から公園まで歩く様子を表している.
- ・学校を出て12分後に公園についた。
- ・公園まで600m。徒歩の速さは毎分50m。
- 12~17分の5分間公園で話している(等)

花さんは学校から図書館まで歩いて本を借りに行きました。途中、 公園で友だちと会い、しばらく話を してから図書館に行きました。

図は、花さんが学校を出てからの時間と、学校からの距離の関係を表したグラフです。グラフからどんなことが読み取れるか考えよう。

【めあて】必要な情報を読み取り、問題解決の方法を説明できるようになろう。

- 〇めあてを提示し、本時の学習に見通しを 持たせる。
- ○問題を提示し、解決方法を考える。

2. 問題を提示し、解決 15 の方法を考える。

問題A、B、Cの3人は、図書館へ行く途中、それぞれ花さんとすれ違ったり、追い越したりしたそうです。その時間はグラフから求めることができます。その方法を説明しなさい。

□ 花さんと同時に学校を出発。 学校から公園まで歩く速さ毎分 40m。公園から図書館まで歩く 速さ毎分60m。公園での休憩時間3分。公園で友だちと話す時間 5分。

ポイント(1)

日花さんより6分 遅れて学校を図 発。学校から図書 館まで休まずにそ のまま行く。歩く 速さ毎分60m。 区花さんと同時に学校を出発。学校から出発して10分後、忘れ物に気付き学校に戻る。その後もう一度図書館に向かって出発。図書館に行く速さ、戻る速さは全て毎分100m。学校で忘れ物を探す時間3分。

○班ごとに条件の違う情報を与え、条件にあ うグラフを作成させる。(例題のグラフは記載済み) (生徒が持った問い)

◎自分の作図したグラフをどのような「用い方」をすれば求められるかな?

【課題】追い越しや、すれ違いの時間をグラフからどのように求められるか。

学習活動

指導及び指導上の留意点

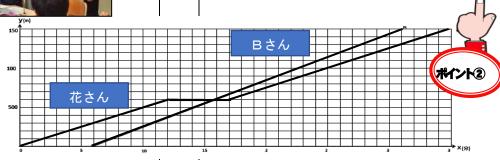
- 3. グループで話し合い説 明できるようにする。
- 4. 各グループの考えを説明する。
- ○個人の考えをまとめる。

12

- ○意見を出し合い、グループとしての考えをま とめ、説明できるようにする。
- 〇班に与えられた条件やグラフをもとに、どの ように読み取ったのか、その方法を説明する。



・例題とB問題の2つのグラフから、Bさんは花さんが公園で友だちと話をしている時に追い越していることが分かります。だから、Bさんが花さんを追い越した地点の時間はyの値が600のときのxの値をグラフから読み取れば求められます。



- 5. 課題に対するまとめを 5
- ○課題に対するまとめをする

行う。 【まとめ】すれ違いや追い越し地点の時間は、2つのグラフの交点の ×座標の値で求められる。

- 6. 本時を振り返る。
- 【学習日記】 ~今日の学習を振り返って、自分が学んだことを整理して書いてみよう~

 (例)・「~だから、~がわかった」・「○○さんの考えを聞いて、~」
 ・「はじめは~と考えたが、~とわかった」

り返らせる。

く授業のポイント>

ポイント①生徒に問いを持たせて設定された「課題」

ポイント②全国調査「記述式」問題の記述形式に基づいた説明(方法の説明)

⑧問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する授業

第2学年 平行線や角の性質(5/5) 題目「図形の性質と補助線」

平行線や三角形の角について、観察、操作や実験などの活動を通してそれらの性質を見い ねらい

評価規準

角の大きさの求め方を既習のことに帰着させ て考え、説明することができる。

(数学的な見方や考え方)

だし、根拠を明らかにして筋道を立てて説明できるようにする。 学習活動 ா 指導及び指導上の留意点 ○前時までの既習事項である平面図形の性質 1. 前時までの既習事項 5 とめあてを確認する。 の確認をする。 〇めあてを提示し、本時の学習に見通しを持 たせる。 【めあて】凹四角形の角の大きさの求め方を考えよう。 2. 問題を提示し、課題 5 を確認する。 既習事項と関連させ、見通し ポイント①。 を持つ場面を設定します。 【生徒の見通し】 次の図の人工の大きとままり 多角形の内角や外角、 平行線の同位角や錯角 についての性質を使う と求められそう。 ・補助線を引く必要は ないか。 【課題】∠xの大きさは、どのような方法で求められるか。

3. 課題解決に取り組む。

〇個人の考えをまとめさせる。

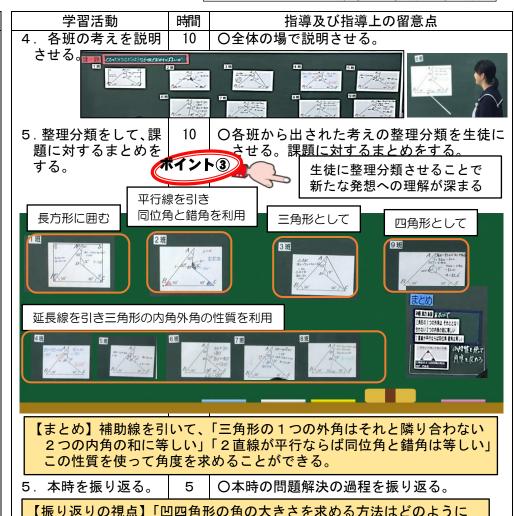
○互いの考えを伝え、練り合わせる。

〇グループの考えをまとめ、説明できるよう にさせる。

自分の考えを説明する場面、他者の考えを聞き自 分の考えを検討する場面を十分保障する。







<授業のポイント>

ポイント①既習事項と関連させて問題解決への見通しを持たせる場面の設定 ポイント②互いの考えを伝え合い、グループの考えを練り合う場面の設定 ポイント③他の解決方法を生徒全体で確認できる場面を設定

説明できたか」として、振り返りをノートに記入する。

⑨判断の理由を数学的な表現を用いて説明する授業 第2学年 確率を用いること(5/6)題目「さいころの目の出方」

平成30年度 全国学力·学習状況調查「数学B」 1

趣旨:不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を 用いて説明することができるかどうかをみる。

(3) 二人は、前ページの放送計画とは別の日に、E. F. G. Hの中 から1曲を選んで流すことを考えています。回答した生徒数が多い 曲が選ばれやすいように、回答用紙によるくじ引きで選んだ曲を流 すことにしました。

回答用紙によるくじ引きの方法

E. F. G. Hが書かれたすべての回答用紙をくじにして、 そのくじの中から1枚を引く。

そこで、アンケートの結果1のE, F, G, Hと回答したものに ついて、下のようにまとめ直しました。

アンケートの結果2

	曲	回答した生徒数(人)				
		1年生	2年生	3年生	全校	
G	E	16	8	. 5	29	
	F	20	4	3	27	
	G	8	. 7	6	21	
	H	6	5	2	13	
	合計	50	24	16	90	

二人は、アンケートの結果2をもとに話し合っています。

拓真さん「回答用紙によるくじ引きなら、回答した生徒数が 少ない曲よりも多い曲の方が選ばれやすいね。」 菜月さん「1年生ではFが一番人気だから、もしFが選ばれ たら1年生は喜ぶよね。」

拓真さん「それなら、1年生の回答用紙だけをくじにすると、 Fが選ばれやすいのではないかな。」

前ページの回答用紙によるくじ引きの方法で、E, F, G, Hと 書かれた全校の回答用紙90枚をくじにする場合よりも、1年生の回 答用紙 50 枚だけをくじにする場合の方が、Fが選ばれやすいことが わかります。その理由を、確率を使って説明しなさい。ただし、ど ちらの場合でも、どのくじを引くことも同様に確からしいものとし

ねらい

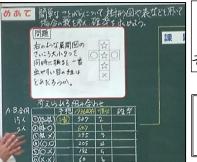
2つのさいころの目の出やすさを、樹形図を用いて起こり得る場合の 数を順序よく整理し正しく数え上げる活動を通して、一番出やすい日 の組を確率を用いて説明できるようにする。

評価規準

不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表 現を用いて説明することができる(数学的な見方や考え方)



実験や観察などの活動を通して、事象の起こりやすさを生徒が 予想し、焦点化した課題を設定します



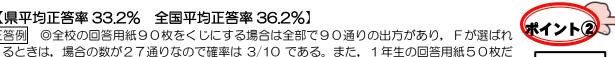
(☆、☆)(☆、○)の目が一番出やすくなりそうだ。 【解決の見通し】

それぞれの確率を求めて比較したらよいのではないか?



【課題】

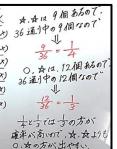
(☆、☆)(☆、○)のどちらの目が一番出やすいか、 その理由を確率を用いてどのように説明できるか。

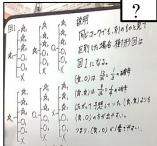


グループの説明を比較し、過不足を指摘し合う場面を設定します。 「根拠と成り立つ事柄が過不足なく説明できているのはどのグル ープの説明かな?」

GOOD

成 (本が(なか)なか(なの)(なの)なか) 36 通り中の9個かので A 4 4 (4 4) (4 4) (40) (40) (4x) (xx)(0x)(4.0)(4.0)(4x) (0.4) (0.4) (0.0) (0.0) (0.x) (x0)(0.0)(0.0)(0.0)(0.0) (x,x) (x,x) (x,x)(x,0)(x,0) (xx)





同じコークでも、別のものと見て 区別した場合、植形図は 図1になる。 (女,の)は 湯= 1の確幸 (京、京)は 36= 女の確幸 したがって子想していた(京、文)よりも (な,の)の方が出やすい。 フまり、(女、の)が/番でですい.

ポイント3人

まとめ

生徒一人一人が説明の過不足を修正し、説明を完成させる場面を 設定します

大きいさいころか公のとき(ひ、の)にかる場合は 6面りで toutus 11 00 83 (40) 1-12 おんなしんかりになる かりつ (なの)にかけ場合は他のある おきいさいころんのできばか 1:7331場合は9面リールス、なので、(公、公)になる場合は9世のある、全ての場合は3(面)ある ので(公、0) 州で1雄率17号= 1 (公公)に13な神17号 = 41=736.13のた(公の) の出る確字の方が大きいから(なの)か7番多い.

場合の方がFが選ばれやすい。 (正答の条件)次の(a)と(b)について記述しているもの。

【県平均正答率 33.2% 全国平均正答率 36.2%】

(a) 全校の回答用紙90枚をくじにする場合と1年生の回答用紙50枚だけをくじにする場合 のそれぞれでFが選ばれる確率を求めて比較すること。

けをくじにする場合は全部で50通りの出方があり、Fが選ばれるときは、場合の数が20通り

なので確率は 2/5 である。 2つの場合の確率を比べると、 3/10 より 2/5 の方が大きい。よ

って、全校の回答用紙90枚をくじにする場合よりも1年牛の回答用紙50枚だけをくじにする

(b) 全校の回答用紙90枚をくじにする場合よりも1年生の回答用紙50枚だけをくじにする 場合の方がFが選ばれやすいこと。

「**2つの場合の確率を比べる**」ことの記述が足りない誤答例

【大分県公立中学校 6.3% 全国公立中学校 6.5%】

誤答例 1 │ ●(a) について,全校の回答用紙をくじにする場合か 1 年生の回答用紙だけをくじにす る場合のどちらか一方を記述し、(b)について記述しているもの

【大分県公立中学校 6.1% 全国公立中学校 4.4%】

誤答例2 ●(a)について,全校の回答用紙をくじにする場合か1年生の回答用紙だけをくじにす る場合のどちらか一方を記述し、(b)について記述していないもの

どのような授業を行うと過不足なく説明できるようになるでしょうか?

⑩事柄を調べる方法を数学的な表現を用いて説明する授業 第3学年 平方根(3/8) 題目「平方根の近似値」

平方根の近似値の求め方を、平方根の性質や大小関係、正方形の面積と辺の長さの関係 ねらい 等を利用して考察することを通して、説明できるようにする。

評価規準

平方根の近似値の求め方について説明でき る。(数学的な見方や考え方)

学習活動	畘間	指導及び指導上の留意点			
1. 前時までの既習事項 を確認する。	5	〇前時の既習事項である大小関係の確認をさせる。ペア等も活用し、根拠となる正方形の面積、2乗の値の比較を必ず発言させる。			
2. 本時のめあてを確認する。	5	〇前時の振り返りから「実際の長さはいくらか」を考えることに触れた後に、めあてを 提示し、本時の学習に見通しを持たせる。			
【めあて】平方根の値を求める方法を説明しよう。					
ポイント①	(h	〇めあてに対する本時の「振り返りの視点」 について押さえる。			
3. √10 と√5 の大小関 係をもとにして、課題 をつかむ。	5	○正方形の面積の比較から考えた√10 と√5 の大小関係を再度確認させる。 「・どれだけ長さが違うのかな? " ・√10 は√5 の何倍になっているかな? "			
【課題】√10 は√5 よりどれくらい大きいのだろうか。それはどう やって調べればよいのだろうか。					
4. 見通しを立て、課題 解決に取り組む。	20	〇「実測する」「値を求める」という2つの見 通しを発話により立てさせる。			

課題指決の見通し

(多数位物語・開発)

(後期にかって限かめる)

手立てとして、1時に取り組んだ既習

事項を配布

〇個で実測する。1cmでないマス目に示した 10cm²、5cm²の正方形の1辺を実測させ、 ペア等で数値を確認させる。

□正確な値がでない。値を調べる方法は?

○2乗の値による大小比較を用いて考えれば よいことを発話により全体で確認し、班で $\sqrt{10}$ と $\sqrt{5}$ の値を求めさせる。

- 〇必要な班には電卓を配布する。
- 〇時間を区切り、出たところまでで√10と√5 の値を比較させる。
- 〇比較した結果を数班発表させる。
- ○電卓による平方根の近似値の出し方にも触 れる。

学習活動 開間 指導及び指導上の留意点 5. 近似値の求め方に 〇大小関係及び求め方(近似値の求め方)に ついて個でまとめさせ、班で説明し伝え合 ついて説明し合い、 課題に対するまとめ わせる。 ○全体で複数共有し、課題に対するまとめと をする。 (ポイント② して板書する。

【まとめ】 $O\sqrt{5}$ の値の近似値は 2, 23606…のような数値になる。 ・ $\sqrt{10}$ は $\sqrt{5}$ より 0.926…大きい。($\sqrt{10}$ は $\sqrt{5}$ の $\sqrt{2}$ 倍となりそう。) 〇平方根の近似値の求め方は、平方根を含めた大小関係は2乗しても変 わらないことをもとに、 $2^2\langle \sqrt{5^2} \langle 3^2$ の考え方を用いて、左右の数値を 小数値にして大小関係を比較しながら同様に調べていけばよい。

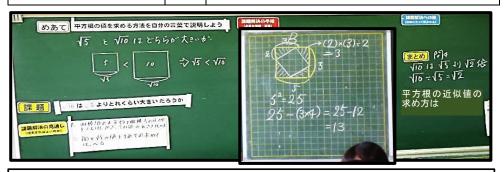


Oまとめの後に、 $\sqrt{10}$ は $\sqrt{5}$ の $\sqrt{2}$ 倍となり そうであることから、 $\sqrt{5} \times \sqrt{2}$ や $\sqrt{10} \div \sqrt{10}$ 5 もできるかどうかという平方根の乗除に 向けた次に繋げる課題に触れる。

6. 本時を振り返る。

〇本時の問題解決の過程を振り返る。

【振り返りの視点】「平方根の近似値を求める方法はどのように説明でき たか」として、振り返りをノートに記入する。



くこの授業のポイント>

|ポイント①「振り返り」(ゴール) を意識させて設定された「めあて」

│ポイント②「方法」の説明を全国調査の記述形式で説明する場面を設定

|ポイント③「まとめ」後に次時以降の学習の見通しをもたせる場面を設定

⑪問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する授業

第3学年 相似の利用(2/2) 題目「相似な図形の性質(相似比)を活用すること」

ねらい

トリック写真において、カメラと人の位置を固定したときの額縁の位置を求める方法を、補助線等により相似な三角形を見出し、相似な図形の性質を利用し考察することを通して、説明できるようにする。

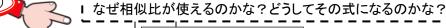
評価規準

地面から額縁内の下までの距離の求め方を、相似な図形の性質を利用して説明できる。 (数学的な見方や考え方)

指導及び指導上の留意点

○班交流後、全体で数名説明。その際、発話

通して、説明できるようにする。						
	学習活動	晡	指導及び指導上の留意点			
	1. 前時までの既習事項とめあてを確認する。	3	〇前時を振り返り日常 場面との違い(カメラ の位置)を確認する。	4.3 る ント①		
	【めあて】トリック写真を	撮ろ う (2			
	2. 問題を提示し、課題 をつかむ。	17	○額縁の中に人がぴったり入っている写真を 撮影することを伝える。	#		
			【撮影のポイント】 ①撮影は1度きり! ②人が額にぴったり入るようにする。 ③人の身長は150cm。 ④額縁の人が入る幅は30cm。 ⑤カメラのレンズから人までの距離は450cm。 ⑥地面からカメラのレンズまでの高さは80cm。			
	』撮影のために	L どの距	! 離を求める必要がありますか?	11/11		
			①カメラから額縁までの距離 ②地面から額縁内の下までの距離	[7		
			○①を求めさせた後、②を課題とする。	5.		
	【課題】地面から額縁内の	の 下 ま	での距離はどのような方法で求められるか。			
	3. 見通しを立て、課題 解決に取り組む。	15	○補助線等で相似な図形を作図すれば求められることを確認する。	【抽		
	= 図の中に相似な: 作ることはできた 			【ポ・ ■教館 聞る		



10

「相似比を使うために、200三角形が相似であることを言う必要があります。

により過不足を補完する。

斜線を引いた2つの三角形は、対頂角が等しいこと、カメラから人に引いた垂線は地面と平行な直線だから錯角が等しいです。したがって2組の角がそれぞれ等しいから、2つの三角形は相似です。だから相似比が使えます。2つの三角形の相似比は360:90です。地面から額縁内の下までの距離をxcmとすると、高さの部分はx:(80-x)で表せます。相似比は等しいから、360:90=x:(80-x)の式で表せるから、この式で求められます。

この式を解くと x=64 だから、地面から額縁内の下まで の距離は64cmです。

【まとめ】人、カメラ、額縁の位置関係の縮図に補助線等を引き、相似な 2つの三角形を見つけ出し、相似比を利用すれば求められる。

教師が期待する説明内容

5. 本時を振り返る。

学習活動 4. 交流後、課題に対す

るまとめをする。

ポイント2

〇日常事象で相似な図形を見出せば、距離等 を求められるよさを振り返らせる。

【振り返りの視点】相似な図形を見つけるとどんなよさがあるか。

【ポイント】教師が説明(記述)の完成形を意識する

- ■教師自身が持っている説明させる内容の解答類型を踏まえて、説明者の発言を 聞き取る。
- ■過不足がある場合は、「なぜ」「どうして」「どこから」という視点で切り返し、生徒に補完させる。なお、個人に返すだけでなく、全体あるいはペアやグループに返すことも考えられる。
- ■生徒に、「用いるもの・用い方」「理由」を意識させ発言させる。

⑩事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する授業

第3学年 三平方の定理とその証明(2/7) 題目「三平方の定理の証明」

ねらい

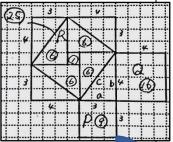
直角三角形の直角をはさむ2辺, a , b と, 斜辺 c を1辺とする正方 形の面積 c^2 の間にある関係を, 文字式を使って表すことを通して, $a^2+b^2=c^2$ が成り立つ理由を説明できるようにする。

評価規準

直角三角形の直角をはさむ2辺 a , b と, 斜辺の長さ c を1辺とする正方形の面積 c^2 の間に, $a^2+b^2=c^2$ という関係が成り立つことを説明することができる。(数学的な見方や考え方)

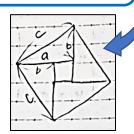
学習活動

1. 前時までの学習内容とめあてを確認する。



2. 課題を確認する。

前時の図を活用し文字 式による説明につなげ ます。



ポイント

説明を比較し過不足を 指摘し合う場面を設定し ます。

間 指導及び指導上の留意点

〇3つの正方形 P, Q, R の面積の関係から, $a^2+b^2=c^2$ が成り立つ予想が立てられたことを振り返らせる。

○めあてを提示し本時の見通しを持たせる。

【めあて】

予想した $a^2+b^2=c^2$ がすべての直角三角形で成り立つことを説明しよう。

〇課題を確認させ、文字による説明の必要性に 気づかせる。

【課題】なぜ $a^2+b^2=c^2$ が成り立つのかな。

15 〇前時の既習内容から情報を整理し、方針を決め、個人で説明を考えさせる。

【生徒Aさんの最初の説明】

$$4 \times \frac{1}{2}ab + (a-b)^2 = c^2$$

 $2ab + a^2 - 2ab + b^2 = c^2$

 $a^2+b^2=c^2$ よって成り立ちます。

15 〇班で過不足を 指摘し合わせる。





学習活動

開調

指導及び指導上の留意点

【生徒Aさんの班活動後の説明】

大きな正方形の面積は、4つの直角三角形と正方形の和で 求めることができます。

まず, 1辺 c の正方形の面積はc²です。

次に、4つの直角三角形と小さな正方形の面積の和について考えます。

1つの直角三角形の面積は、 $a \times b \times \frac{1}{2}$ より $\frac{1}{2}ab$ です。

また、小さな正方形の1辺が a-b なので、面積は $(a-b)^2$ です。

よって、4つの直角三角形と小さな正方形の面積の和と、1辺cの正方形の面積が等しいことから、等式を作って整理すると、

$$4 \times \frac{1}{2}ab + (a-b)^2 = c^2$$

$$2ab + a^2 - 2ab + b^2 = c^2$$



よって、直角三角形の直角をはさむ 2 辺a、bと、斜辺の長さcを 1 辺とする正方形の面積 c^2 の間には、 $a^2+b^2=c^2$ が成り立ちます。

4. 課題に対するまと めを行う。 5

〇課題に対するまとめをさせる。

【まとめ】

直角三角形の直角をはさむ2辺からできる正方形の面積の和と、斜辺を1辺とする正方形の面積は等しくなるので、直角三角形の直角をはさむ2辺、a , b と、斜辺の長さ c の間には $a^2+b^2=c^2$ が成り立つ

5. 本時を振り返る。

5

○本時の問題解決の過程を振り返らせる。

【振り返りの視点】

面積が等しい関係にあることを説明するときに、別の説明の方法はないか。

<授業のポイント>

- ■説明を比較し、過不足を指摘し合う場面の設定
- ■問題解決のために立てた方針に基づいた説明
- ■既習内容との関連付け